

兵庫県内の中学生が活動する 「トライやる・ウィーク」

協力いただける企業・施設・地域等を募集しています



地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」とは？

「トライやる・ウィーク」は、阪神・淡路大震災や神戸市須磨区の痛ましい事件を背景に、平成10年度から、県民すべてがかかわる兵庫の教育の象徴として実施されている、中学2年生を対象とした1週間の体験活動です。

コロナ禍をはじめ、変化の激しい時代を生きる子ども達にとって、「トライやる・ウィーク」はますます重要な活動となっています。



最近では、企業・施設・地域等が、自らの組織で「トライやる・ウィーク」の良さを実感して、積極的に生徒を受け入れる企業等が増えています。

「トライやる・ウィーク」を受け入れる良さとは？

企業等の社会貢献活動の一環として、「トライやる・ウィーク」の生徒を受け入れるケースがこれまでも多くあります。例えば、次のようなことが期待でき、企業価値を高めることなどにもつながっています。

○社員自身が、生徒への会社紹介等を通して、自社をより深く知ることができます。【社員教育の一環】

○生徒と一緒に企業・施設の課題を解決するためのアイデアを出し合ったり、新たな企画や商品を生み出したりすることができます。【企業の社会的役割】

○地域で大切にしている伝統等を、生徒が直接体験したり触れたりすることで、次の世代に文化を継承することができます。【地域への理解促進】

○生徒に知られていない職業等を知ってもらうことができます。【次代を担う人材育成】



裏面もご覧ください

「トライやる・ウィーク」では、次のような生徒の育成をめざしています！

地域や自然の中で、生徒の主体性を尊重した様々な活動や体験を通して、

- 豊かな感性や創造性
- 他者と協力・協働して社会に参画する態度
- 自ら考え主体的に行動し問題を解決する能力

などの育成をめざしています。



1日目は緊張の中で、2日目、3日目に活動場所に慣れて、4日目に自分なりに創意工夫をして、5日目には、やり遂げた感慨や感謝の気持ちを持つようになるとの考えから、1つの受入先で1週間の活動ができることをめざしています。



「トライやる・ウィーク」に関する資料

兵庫県教育委員会 義務教育課

地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」Web ページ

URL: <https://www2.hyogo-c.ed.jp/hpe/gimu/tryyaru>

<主な掲載内容>

- ・「トライやる・ウィーク」指導の手引き
- ・「トライやる・ウィーク」のまとめ など



「トライやる・ウィーク」の生徒を受け入れるためには？

受け入れる中学校等の数や地域によって、連携先が異なります。

まずは下記の連絡先へご相談ください。

○兵庫県教育委員会事務局 義務教育課

TEL 078-341-7711(代)

○各市町組合教育委員会事務局



※生徒の受け入れの際には、安全面の配慮や個人情報の保護等に留意が必要となります。